

暮らしのサポートも きめ細やかに

石狩市では、将来にわたり安定したまちづくりを展開するためにも、子育て世帯や、本市での生活を考えている方に向けて、空き家活用助成などを通じた移住・定住の促進を図っています。

ここでは実際に移住し、「石狩暮らし」を楽しむ方々の声をご紹介します。

In order to promote stable city development, Ishikari City is trying to encouraging households with children and people who are considering living in Ishikari to come and settle in Ishikari through, for example, subsidies for the utilization of vacant houses.

2018年の移住希望先ランキングで
北海道は前年の16位から3位に浮上!
※認定NPO法人ふるさと回帰支援センター調べ



東京での移住相談会

東京都内で開催される移住相談会やフェアへ積極的に参画。都市への利便性や大自然がそろう「石狩暮らし」の魅力をご提案しています。

石狩産食材をメインにした
料理が大人気



愛知県名古屋市出身の田中勝吉さんと奥さんの民世さんは、石狩市の新規就農者として高岡地区に移住しました。2015(平成27)年には東京でシェフをしていた娘のえみさんが「わがまま農園Cafe」をオープン。勝吉さんが作った野菜と地元産の肉や魚を使った料理を提供し、着実にファンを増やしています。勝吉さんは「たいていの食材がそろうのは、石狩のすごいところですよ」

2000年に来ました!

田中 勝吉さん・民世さん・えみさん



“海の街”で夢を叶えました

2017年に来ました!



角野 亮太さん・飛鳥さん

角野さんご夫婦は養鶏と養蜂を営む新規就農者です。市内で研修を受け、「飛ぶ鳥農場」を始めるときも「自分たちの住みたいところに住もう」と厚田区望来を選びました。坂の向こうに海が見える景色に魅せられ、商品名も「海の街たまご」「海の街シフォン」に。

角野さんは「ここではいろいろな方に支えられ、毎日が充実しています。望来に来て本当に良かったです」



石狩市空き家活用 助成制度

市内の空き家を購入して定住される方や地域活性化事業を行う方に対し、空き家の購入費用やリフォーム費用の一部を助成しています。また、18歳以下の子どもと同居する場合や市外から転入される市内就業者の場合には、さらに助成金を加算しており、現役世代の移住・定住が着実に増えています。

2018年に来ました!



大野 国博さん・千夏子さん

山も川も海もあるのが
とても魅力

千葉県市川市から移住した大野さん一家は「石狩市空き家活用助成」を利用し、花川北地区にある築約30年の家をリフォームしました。移住してとりわけ気に入ったのは自然環境。石狩川につながる茨戸川の近くの公園では無料で使えるバーベキューコンロを見つけ、「驚きました。キャンプ場に行く必要がありませんね」と千夏子さん。札幌出身の国博さんも「石狩がこんなに自然豊かとは」と言い、「子どもとできるレジャーもいろいろありそう。楽しみです」

学校・職場・お店が
とても行きやすいです

2018年に来ました!

神奈川県横浜市から移住した白石さんにとって北海道は昔から憧れの地。「でも暮らすとなると、雪国暮らし初心者なので一軒家は不安でした。学校と職場、日々の買い物などができるところも近くにない」と探し始めて、全ての条件をクリアしたのが、花川北地区の団地でした。「札幌行きのバス停も目の前にあって、本当に便利に暮らしています」



白石 奈美子さん

